

3-7 嘉永6年2月2日の小田原地震

Odawara Earthquake of March 11, 1853

東京大学・地震研究所

Tatsuo USAMI

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

新収集史料56点にもとずいて、表題の地震について調査した。結果は図に示してある。

規模は6.5～6.7

震央は(139.15°E, 35.25°N)

と推定した。また、国府津・松田断層との関係は不明である。津波に関する記録は見つからなかった。

第2図は推定震度分布図である。第1図は被害分布図で、記号ならびに番号などの意味は以下の通りである。

○は頂戴金・拝借金・御仁恵金などを受けた村々で、括弧内のアンダーラインのある数字は、上記の金をうけた軒数、これらは実際に多少の被害はあったと思われるが、被害についての確実な史料がない場合である。●は被害のあったことが明らかな村々、括弧内の意味は次の通り、

(x, y) / Z x: 家屋潰軒数, y: 同半潰軒数, Z: 全戸数, 居宅以外は除く

■は石垣崩れ・橋台崩れを示す。△は破損を示す。そのうらには確度のや、落ちるものを含む。×は余震のあった所、◎は大凡の位置がわかるように記入した都市の市役所の位置で参考のため、地名に括弧をしてあるものは、文書に対応すると考えられる現地名を示す正字である。

右下は小田原市の図で、実線は新幹線を、点線は旧東海道を示す。斜線はとくに被害の大きかった町。横線は小田原城の北東域で、やはり被害の大きかった所。

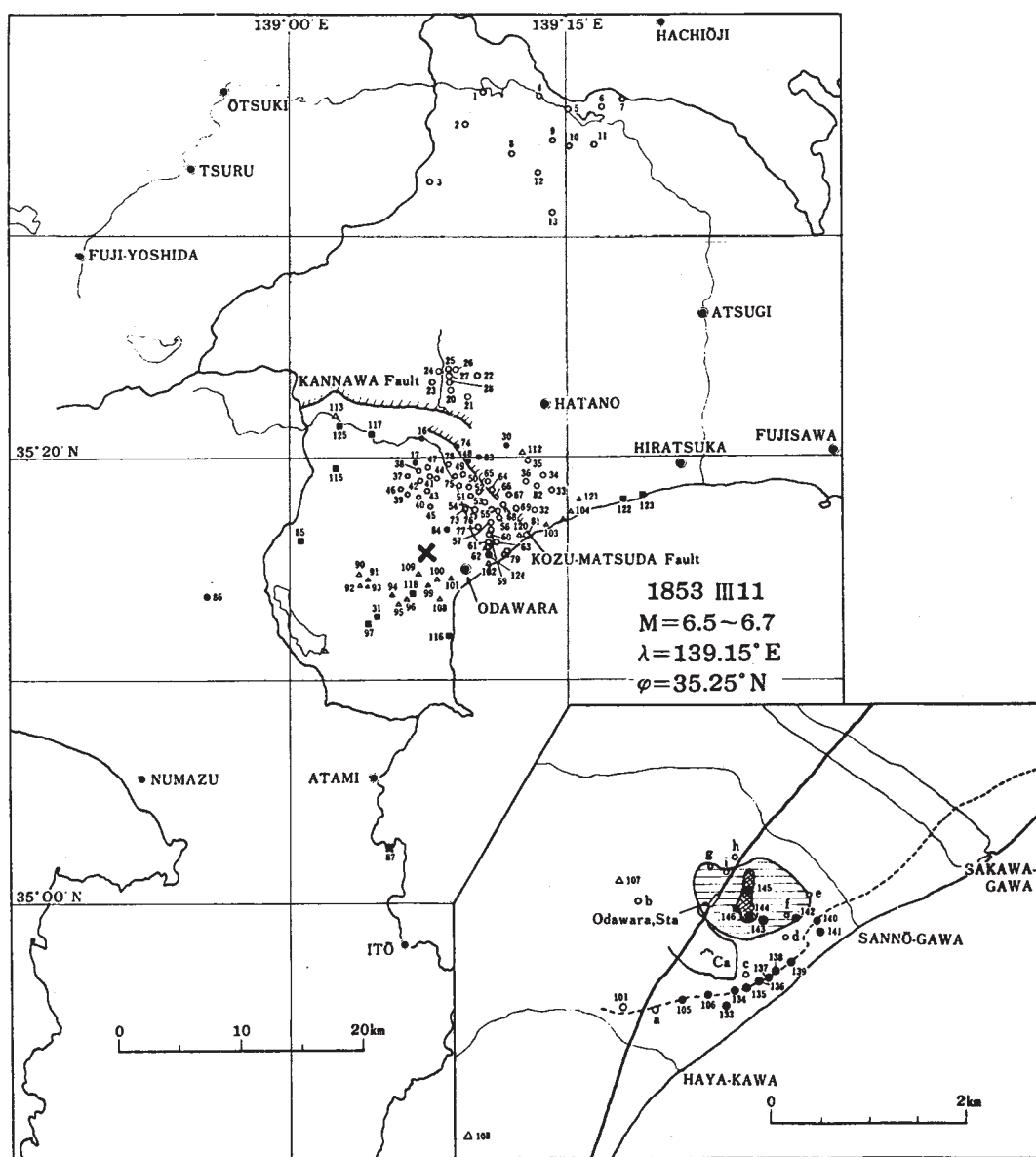
図中にない地点番号は、位置の同定できないものか、図の範囲外に出るものである。

1. 日蓮村 2. 牧野村 3. 青根村 4. 若柳村 5. 又野村 6. 上中沢村・下中沢村 7. 下川尻村 8. 青野原村 9. 青山村
10. 上長竹村・下長竹村 (76) 11. 根小屋村 12. 鳥屋村 13. 宮ヶ瀬村 16. 岡野村 (0.) / 17. V⁻ 17. 千津嶋村 (5.) /
71. V⁻ 20. 菅沼村 21. 八沢村 22. 三廻部村 23. 虫沢村 24. 大寺村 25. 宇津茂村 26. 大(土?) 27. 中山村
28. 弥勒寺村 30. 高尾村 (5, 2) / 20ca VI 31. 須雲川村 V⁺ 32. 上町村 33. 小竹村 34. 久所村 35. 松本村 36. 田
中村 37. 関本村 (9) 38. 堀下村 (9)⁸ 39. 狩野村 (6) 40. 中沼村 (8) 41. 言(宮?)之台 (5) 42. 竹松村 (17)
43. 和田河原村 (9) 44. 牛嶋村 (8) 45. 塚原村 (11) 46. 飯城(沢?)村 (8) 47. 円通寺村・中之石村 (6) 48. 金
子村 (52,45), VI 49. 上大井村 (47) 50. 下大井村 (8) 51. 西大友村 (16) 52. 東大友村 (14) 53. 永塚村 (24)
54. 延沢(清?)村 55. 千代村 (18) 56. 高田村・別堀村 57. 下堀村 58. 中野村 59. 矢作村 60. 鴨宮村 61. 上新
田 62. 中新田 63. 下新田 64. 上曾我村 (40) 65. 大沢村 (16) 66. 岸村 (19) 67. 谷津村 (22) 68. 原村 (27)
69. 別所村 (12) 70. 窪村 (40) 71. 南窪 (82) 72. 鬼(恩?)柳村 (38) 73. 桑原村 (38) 74. 神山村 75. 西大
井村 76. 成田村 77. 飯泉村 78. 金手村 79. *酒田(匂?)村 80. 鍛冶村 81. 国府津村 82. 五所原村 83. 山田村

(14, 24), VI 37. 関本村 (15,), VI 84. 府川村 (9, 14), VI 85. 仙石原御関所 V 86. 御殿場 (, 1) IV⁺ 87. 網代 88. 江戸Ⅲ~Ⅳ 90. 木賀 91. 堂ヶ島 92. 底倉 93. 宮ノ下 94. 塔之沢 95. 湯本条屋 96. 湯本 97. 畑宿 V 98. 箱根 99. 入生田 100. 風祭 101. 板橋 102. 細 (網?) 一色 103. 前川 104. 川匂 105. 山角町 106. 筋違橋町 107. 御城山 108. 石垣山 109. 伊張山 110. 山沢村 111. 嶋村 112. 岩倉村 113. 都夫良野村 115. 矢覧沢関所 V⁺ 116. 根府川関所 V⁻ 117. 川村関所 V⁺ 118. 三枚橋 V 119. 酒田村 V⁻ 120. **国府津橋 V⁺ 121. 山西村 IV 122. 西小儀 (磯?) 村 IV 123. 大磯 IV 124. 今井村 IV 125. 谷ヶ村関所 V⁺ 133. 茶畑町 134. 中宿町 135. 本町 136. 宮前町 137. 高梨町 138. 青物町 139. 万町 140. 新宿町 141. 古新宿町 142. 七枚橋 143. 大工町 144. 須藤町 145. 竹ノ花町 146. 上幸田町, 下幸田町 Ca. 小田原城趾 a. 大久寺 b. 慈眼寺 c. 松原神社 d. 安国寺 e. 蓮上院 f. 本源寺 g. 愛宕社 h. 大乘寺 i. 永久寺

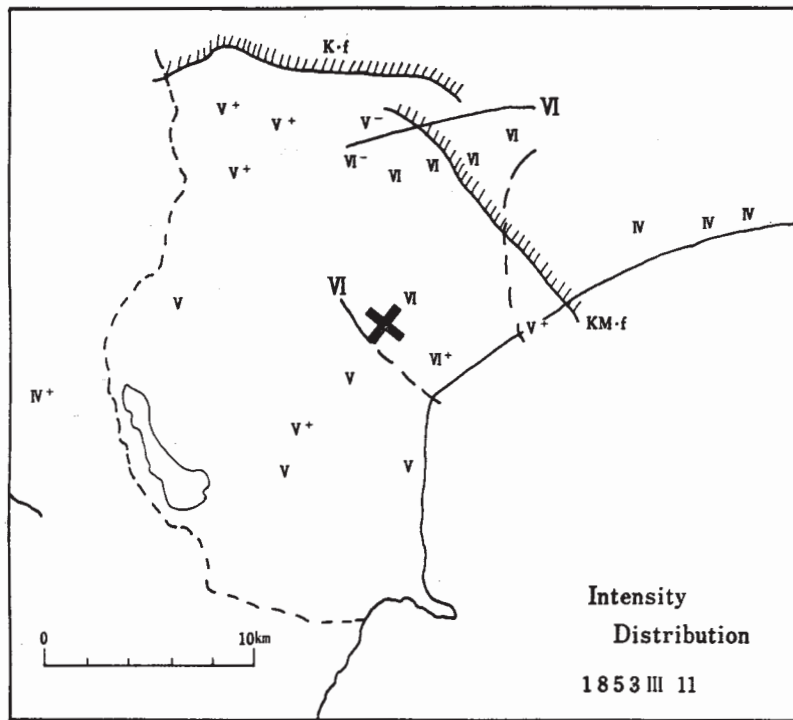
* 酒田村 (現開成時) は明治になってからできた。これは酒匂村の誤りと思う。その理由として 80. に相当する酒匂鍛冶分村があった。

** 国府津市の森戸川にかゝる親木橋のことか。当時酒匂川には橋はなかった。



第 1 図 被害分布図

Fig. 1 Distribution of Damage due to the Odawara Earthquake of March 11, 1853.



第 2 図 震度分布図

Fig. 2 Intensity Distribution of the Odawara Earthquake of March 11, 1853.